

在宅訪問教育のICT活用

在宅訪問教育では、教師が児童生徒の所へ赴き、教育活動を行っています。児童生徒一人一人に合った教材の一つとして、ICTを活用しています。今回はその一部をご紹介いたします。

～アプリ「Sounding Board」～

親指を動かせる児童に使用しています。

このアプリは、画面に触れている指が少し浮いただけでも反応して、スイッチが反応します。あらかじめ音声を入力しておいて、あいさつや活動時に使用しています。親指の小さな動きにも反応してくれるので、児童が主体的に学習に取り組むことにつながっています。



～ポケットWi-Fiを使って～

学校ではインターネット環境が整っています。在宅訪問生は、



学習の場が家庭なので、学校と同じように学べるよう、ポケットWi-Fiを用いて学習環境を設定しています。

その日聴きたい曲を教師と一緒に選ぶ等活用しています。